

第21回名古屋大学下宿用品リユース市

企画書

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

2015年12月18日

1, はじめに

毎年4月、名古屋大学にも様々な地域出身の1年生が入学して下宿を始めます。下宿を始める学生の中には必ずしも経済的に豊かではない学生も少なくありません。特に下宿を始める4月はアパート敷金・礼金、家具・電化製品の購入など、費用がどうしてもかさんでしまいます。中古でも使えるのなら構わないと思う人も多いのですが、そもそも手に入る機会がないため、結局のところ新品を購入することが現実のようです。

他方で、卒業する4年生の中には、家具などを転居先へ搬送することは困難であることを理由に、まだまだ十分使える家具でも捨ててしまったと聞いたことがあります。たった数年しか使用していないのに、捨てるにはもったいないと感じている下宿生も多いでしょう。このような卒業生と下宿を始める新入生を結び付ける機会としてリユース市が誕生しました。まだ使えるものを捨てるのではなく、必要な人に提供することで環境負荷軽減にもつながります。家具たちに再出航の機会を創出するリユース市というイベントを通して、提供者の方にも来場者の方にも環境について考えていただければ幸いです。

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会 第21回代表 滝口 堯

2, 名古屋大学下宿用品リユース市とは

名古屋大学下宿用品リユース市（以下、リユース市という）とは、卒業生や地域の方が使わなくなった家具、家電製品、日用品などを譲り受け、それらを主に下宿をする予定の新入生、下宿している在學生に提供するイベントです。リユース市は、名古屋大学環境サークル*Song Of Earth*のメンバーが中心となり、名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会を組織し、企画・運営を行っています。例年、下宿をする予定の新入生が参加しやすい3月下旬頃に名古屋大学内で開催し、2016年春で21回目を迎えます。

3, 目的・目標

目的：環境負荷軽減のために、下宿用品のリユースを推進する

目標：回収した全ての物品を来場者に引き渡す

名古屋大学下宿用品リユース市では、下宿用品のリユースを推進し、ごみの減量化を図り、環境負荷を軽減することを、目的として掲げています。

また、第20回で、投票方式の電子化に伴い、1票も投票されない物品が大幅に増加したことから、第21回では、投票方式を見直し、全ての物品を新たな引き取り手へと引き渡すことを目標とします。

4, 企画の概要

名 称：第21回名古屋大学下宿用品リユース市

主催団体：名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

後 援：名古屋市（申請予定）、名古屋大学（申請予定）

開 催 日：2016年3月26日（土）

開 催 場 所：名古屋大学豊田講堂

開 催 規 模：想定物品提供者数50人、想定取扱物品数200品、想定来場者数400人、想定
当日スタッフ数 30人

想定来場者：下宿予定の名古屋大学新生、下宿中の在校生、地域住民の方々

提 供 物 品：大型家電製品、台所用家電、空調用機器、AV機器、寝具、机類、収納家具、
その他日用品など

提 供 方 法：抽選により引き取り手を決定する。物品は無償で提供する。

5, 前回の概要

名 称：第20回名古屋大学下宿用品リユース市

主催団体：名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

後 援：名古屋市、名古屋大学

目 的：環境負荷軽減のために、下宿用品のリユースを推進する

目 標：1. 来場者に環境の意識をもってもらう。

2. 来年度以降運営を行うスタッフの確保と育成。

開 催 日：2015年3月28日（土）

開 催 場 所：名古屋大学豊田講堂

開 催 規 模：物品提供者数32人、取扱物品数165品、来場者数209人、当日スタッフ数16
人

提供対象：下宿予定の名古屋大学新生、下宿中の在校生、地域住民の方々

提供物品：大型家電製品、台所用家電、空調用機器、AV機器、寝具、机類、収納家具、
その他日用品など

提供方法：抽選により引き取り手を決定する。物品無償で提供する。

6, 今までの実績

・名古屋大学総長顕彰

名古屋大学下宿用品リユース市は、平成15年度名古屋大学総長顕彰の「正課外活動への取り組み」部門における「その他（サークル活動）」分野で表彰されました。また、平成19年度名古屋大学総長顕彰の「正課外活動への取り組み」部門における「社会貢献活動」分野で表彰されました。環境負荷の少ない循環型社会の形成を理念とし、多くの参加者からの賛同を受けていることが評価されました。

・助成金

第10回から第12回、第14回の名古屋大学下宿用品リユース市は名古屋大学全学同窓会から助成金をいただきました。また、第13回のリユース市は財団法人学生サポートセンターから助成金を受けました。

・報道など

第16回リユース市では、中京テレビ、CBCテレビ

第17回リユース市では、NHK、名古屋テレビ、CBCラジオ、MID-FM761

第18回リユース市では、NHK

から取材を受け、回収活動や当日の様子が紹介されました。

7, 開催までのスケジュール

9月：開催日・開催場所決定

10月：目的・目標決定、回収日等決定

11月：回収日等決定

12月：回収告知広報、開催日マニュアル推敲

1月：HP開設, 回収活動準備、開催告知広報, 回収告知広報

2月：回収活動開始、開催告知広報

3月：回収活動、物品清掃と管理、開催準備、リユース市開催

4月：物品配送、反省会

8, 当日スケジュール

- | | | |
|-------|-------------------|------------------------------|
| 8:30 | コアスタッフ集合 | 最終打ち合わせを行う。 |
| 9:00 | お手伝いさん集合 | |
| 9:20 | 午前の担当別に説明、午前リハーサル | |
| 10:00 | 開場、受付開始 | 来場者を入場させる。 |
| 11:15 | 入場受付終了 | 受付を終了する。 |
| 11:30 | 一旦閉場 | 来場者を全て外に出す。 |
| 11:50 | 抽選、設営開始 | 抽選開始。午後の設営も並行して行う。 |
| 12:20 | 抽選、設営終了 | 当選者のエントリーナンバーを会場入り口付近に掲載します。 |
| 13:00 | 午後の担当別に説明、午後リハーサル | |
| 13:30 | 再開場 | 来場者を再入場させる。 |
| 14:00 | 残品セール | 投票されなかった物品の引き取り手を、くじで決定する。 |
| | | これ以降運べるものから順次片付け開始 |
| 17:00 | 閉場 | |

9, 予算

物品は無償で提供し、運営費に対するカンパを募ります。

- ・支出の部の「運送費」は回収・配送時のレンタカー代と燃料費と駐車料金代です。
- ・支出の部の「スタッフ補助費」は回収日・開催日に外部からお手伝いに来ていただいた方の昼食代、開催日のスタッフの昼食代などです。

支出		予算	収入		予算
運送費	レンタカー費	80,000	運営カンパ	回収カンパ	83,000
	燃料代	10,000		当日カンパ	54,000
	駐車料金	4,500	配送料		20,000
消耗品費		8,000	利子		100
備品購入費		10,000	小計		157,100
通信費		6,000	前回繰越		435,974
印刷費		500	合計		593,074
スタッフ補助費		20,000			
HP 維持費		4,400			
保険料		8,000			
物品処分費		5,000			
広告宣伝費		700			
小計		157,100			
次回繰越		435,974			
合計		593,074			

10, 連絡先

名古屋大学下宿用品リユース市実行委員会

第21回代表 滝口 堯（名古屋大学大学法学部法律・政治学科3年）

個人電話番号：090-1833-0785

個人メールアドレス：t.takiguchi0623@gmail.com

リユース市電話：080-9486-0910

リユース市実行委員会メールアドレス：reusemarket758@yahoo.co.jp